

一般社団法人 世界経済研究協会 (AWES: Association for World Economic Studies)

[協会について](#)[世界経済評論](#)[フォーラム](#)[白馬会議](#)[AAMO](#)[入会のご案内](#)[お問合せ](#)[リンク](#)[HOME](#)

世界経済評論IMPACT

世界経済評論IMPACT

■教育財のグローバル・バリューチェーン
2015.01.19

村中 均(常磐大学国際学部准教授)

21世紀に入って、多国籍企業をキープレーヤーとするグローバル・バリューチェーン(グローバル生産・流通ネットワーク)が国際経営学や国際経済学の主要な研究対象となっており、新たなコンセプトが生み出され、理論化が進められている。その進展は、貿易・投資に関する制度の自由化の促進を背景に、ICT(情報通信技術)の革新、製品(工程)のモジュール化、さらに貨物輸送コストの低減等、バリューチェーンの調整に関わるコストが大きく低下したことが要因として挙げられる。

例えば、国際経営学では、世界同時に1回限りのグローバル製品ライフサイクル戦略、さらに新興国から先進国へのリバース・イノベーション等、多国籍企業によるグローバルなネットワークを前提とし、その中の相互作用性に着目した理論化が図られている。国際経済学でも、フラグメンテーション(オフショアリングとアウトソーシング)理論さらに企業の異質性を前提とした理論等、企業の視点から分析した国際貿易理論が、その中心になりつつある。これは、現在、世界の貿易の過半を担っているのは、バリューチェーン(生産工程)レベルつまり企業のグローバルなマーケティング戦略に見る(多国籍企業による)グローバルな生産と流通のネットワークであり、それは各国の経済活動の大部分を占めており、その存在や戦略を考慮に入れずして、生産や貿易(国際分業)のパターンを論じることはできないという事実があるからである。

実は、このグローバル・バリューチェーンは、企業活動に限られたものではなく、現在では高等教育の分野でも出現している。高等教育は、WTO(世界貿易機関)において1995年にGATS(サービス貿易に関する一般協定)が発効されたことで貿易の対象とされ、市場化・教育財化したものとして位置付けられるようになった。この中では学生を教育サービスの消費者として捉え、大学または教員を教育サービスの提供者と捉え、教育サービスを4つの貿易形態(モード)として分類している。第1モードは「越境取引」であり、例えばe-learning等による遠隔地教育のことである。第2モードは「海外消費」のことで、留学生の受け入れのことである。第3モードは「海外拠点」であり、海外キャンパスの設置・運営のことである。第4モードは「労働移動」のことであり、サービス提供者である教員(研究者)の海外派遣・就業のことをいう。

21世紀に入って、教育サービスの4つのモードが複合的に顕現し、海外分校(オフショア・プログラム)や大学間の合併(例としてYale-NUS大学)、そして連携やコンソーシアム等、高等教育の国際的協調ネットワークが形成されつつあり(例としてEUのERASMUS、アジアの「キャンパス・アジア」構想)、例えば、アジアから欧米の高等教育機関への留学も増加し、アジア域外から域内への留学そして域内の留学も増加している状況にある。アジア地域で見ても、同時にグローバル化に対応し、連携を図りながら、アジア地域内外で双方向的な大学間の国際協調ネットワークが構築され、グローバル人材育成(このことを、グローバル教育財という)に向けた大学間の協働と競争が生じ始めている。

このような並列的な展開を見ているアジアそして世界の中で、日本の大学教育は今後どのように「国際化」を図っていくのが問われている。すなわち、グローバル教育財生産のためのグローバル・バリューチェーンをいかに構築していけばよいのかということが、21世紀の日本の大学教育の課題となっている。このことは、既述のごとく「グローバル人材」をいかに育成すべきかということと同義である。しかもそれは、大学教育によって、学生がどのような知識・技能等を身に付けることができたのか、換言すれば、学修成果(Learning Outcomes)さらにいえば教育の「質保証」の観点を中心としたものでなくてはならない。

以上のような視点から、大学教育の質保証と国際化についての理論的な考察は、鈴木典比古(国際教養大学理事長・学長)氏と筆者が共著の(鈴木典比古・村中均)『グローバル教育財移動理論—大学教育の質保証と国際化』(文真堂、2014年12月)で詳細に論じている。21世紀型大学教育への革新(イノベーション)に関心のある方には是非一読いただきたい。

キーワード: グローバル・バリュー・チェーン、教育財